

南予地域柑橘農業復興対策チーム 第7回会議

資料

1	短期的復旧対策について		
	①今季収穫作業の状況	1
	・モノレールの復旧状況	2
	・アルバイト等の確保状況	3
	・収穫困難園地への対応	4
	②販売支援の状況	8
2	中長期対策について		
	①災害復旧事業の状況 等	10
	②農地復旧モデル計画策定事業	13

1 短期的復旧対策について

① 今季収穫作業の対応

モノレールの修復状況について

1 宇和島地区

▶12月12日現在の復旧状況は、被害か所621に対し修理済みが390か所、復旧率で、62.8%となっており、前回の調査(11/21)から3.5ポイント増

▶被害延長35,827mのうち、修復された長さは21,870m(61.0%、光栄15,000m、ニッカリ6,870m)

▶中生温州の収穫が最盛期を迎え、農家自力施行班の活動が緩やかになっている

[宇和島市の地区別状況]

(単位:か所)

地区名	損壊	未復旧※	復旧済※	復旧率(%)※
立間	160	50 (56)	110 (104)	68.8 (65.0)
吉田	48	24 (26)	24 (22)	50.0 (45.8)
奥南	71	22 (25)	49 (46)	69.0 (64.8)
喜佐方	77	21 (23)	56 (54)	72.7 (70.1)
玉津	239	112 (120)	127 (119)	53.1 (49.8)
高光・宇和島	26	2 (3)	24 (23)	92.3 (88.5)
計	621	231 (253)	390 (368)	62.8 (59.3)

※ ()書き内の数値は、前回(11月21日)の状況

2 八幡浜地区

▶八幡浜地区での被害は、86件で12月15日現在の復旧状況は、修理済みが31件、復旧率で、36.0%となっており、前回の調査(11/21)から6.9ポイント増

[八西地区の状況]

(単位:か所)

地区名	損壊	未復旧※	復旧済※	復旧率(%)※
真穴	1	1 (1)	0 (0)	0.0 (0.0)
川上	6	3 (5)	3 (1)	50.0 (16.7)
八幡浜	6	4 (4)	2 (2)	33.3 (33.3)
日の丸	2	0 (0)	2 (2)	100.0 (100.0)
八協	11	4 (5)	7 (6)	63.6 (54.5)
みつる	53	36 (39)	17 (14)	32.1 (26.4)
磯津	—	—	—	—
八幡浜計	79	48 (54)	31 (25)	39.2 (31.6)
伊方	5	5 (5)	0 (0)	0.0 (0.0)
三崎	2	2 (2)	0 (0)	0.0 (0.0)
計	86	55 (61)	31 (25)	36.0 (29.1)

※ ()書き内の数値は、前回(11月21日)の状況

3 東宇和地区

▶東宇和区での被害は、267件で12月18日現在の復旧状況は、修理済みが171件、復旧率で、64.0%となっており、前回の調査(11/21)から27.3ポイント増

[東宇和地区の状況]

(単位:か所)

地区名	損壊	未復旧※	復旧済※	復旧率(%)※
明浜	264	95 (168)	169 (96)	64.0 (36.4)
三瓶	3	1 (1)	2 (2)	66.7 (66.7)
計	267	96 (169)	171 (98)	64.0 (36.7)

※ ()書き内の数値は、前回(11月21日)の状況

今季収穫作業の状況について(宇和島地区)

1 モノール被災園における運搬アルバイトの状況等

- ▶12月12日時点で21戸の農家から延べ3,844人(11～3月)の求人
- ▶求人は主力品種である中生温州(12月中・下)の収穫時期と晩柑(3月)の収穫時期に多くなっている
- ▶アルバイトは、11月中旬～12月上旬にかけ要望に対して7～8割程度
 - 11月中旬から12月上旬の不足分は、みかんアルバイト(収穫作業)で対応
- ▶アルバイトの募集については、全国版の農業アルバイト専用サイト等への掲載や地元大学生への呼びかけ、農家自らSNSによる情報発信、県内関係機関への周知等を実施
- ▶11月30日に愛南町のかんきつ農家による「みかん運搬アルバイト」の報道により、問い合わせが増加(報道後1週間に約30件)
- ▶これらにより12月中旬～下旬の求人については、ほぼ要望を満たしている状況
- ▶12月下旬は、学校が冬期休業となることもあり、地元短大生約20名が参加する予定
- ▶年明け後の2月中旬以降には、アルバイトが不足している状況

運搬アルバイトの求人・求職状況

30.12.12時点
(単位:人)

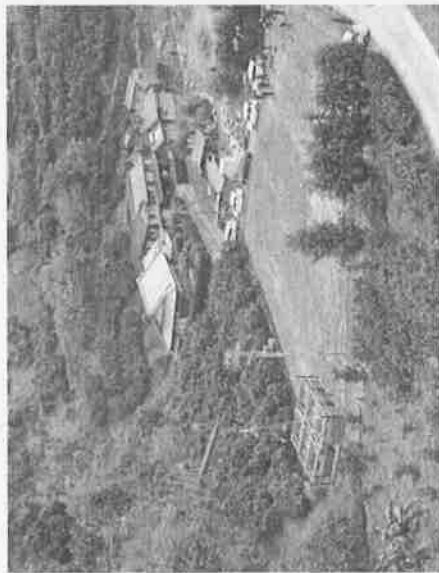
	11			12			1			2			3			計	
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
	要望延べ人数①	117	202	223	304	307	286	238	257	267	190	250	232	320	310		341
確保②	118	160	160	209	278	357	222	210	231	170	170	136	170	170	187	2,948	
(11/20時点)※1	—	—	(169)	(170)	(170)	(187)	(160)	(160)	(176)	(140)	(140)	(112)	(140)	(140)	(154)		(1,849)
充足率③	101%	79%	72%	69%	91%	125%	93%	82%	87%	89%	68%	59%	53%	55%	55%		
不足数/日④※2	—	4.2	6.3	9.5	2.9	—	1.6	4.7	3.6	2	8	9.6	15	14	14	4.5	

※1 11月20日時点のアルバイトの確保状況を表している

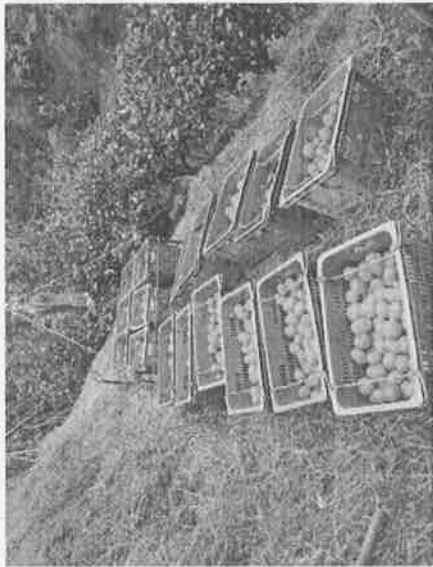
※2 1日あたりの不足人数を表している(①-②)/10[旬=10日]

2 モノレール被災園での新たな運搬方法の取組み

- ▶ 災害により農地の一部が崩落し、人力による運搬に危険が伴う園地では索道を利用して搬出(12月3日から利用開始)
- ▶ 現在、索道は林業部門において木材の搬出等で利用されており、今回、砥部町の業者[(株)ニシイチ]からレンタル
- ▶ 設置場所は立間地区の白井谷の南柑20号の園地(35a)で、延長200m、高さ約100mの規模
- ▶ 運搬能力は、1回にコンテナ6ケースを積載(約90kg)し、片道約4分で搬出
- ▶ 移動・昇降操作に加え安全な稼働も踏まえ積み下ろしには2人を配置
- ▶ 索道設置には、2日(12/1~2日)を要し、事前に業者との現地確認が必要
- ▶ 設置には、直線で見通しがきくことが前提
- ▶ 設置に係るレンタル料は20日間で83万円、補助事業(果樹経営支援対策[自然災害対応]事業)を利用し、農家負担は1割程度
- ▶ JAでは、他の園地においても、要望があれば適宜対応していくとのこと



Pic.1 搬出風景



Pic.2 園地での搭載



Pic.3 園地風景

[モノレール損壊部]

平成30年7月豪雨災害におけるかんきつ被害・復旧状況【宇和島市】

H30.12.12

項目 地区	農地復旧状況										農道損壊・復旧状況					自動化スプリンクラー・播種・復旧状況					モノレール損壊				被災農家(戸)			1戸あたりの被害程度(戸)※1					
	復旧対象面積(ha)	未復旧(ha)	復旧中(ha)	復旧済(ha)	出荷可能な農地 通常操出の割合	出荷できない農地 の割合	摘果済(%) 減収・ 通常操出 荷園地	防除済(%) 減収・ 通常操出 荷園地	損壊本数(本)	未復旧(本)	復旧中(本)	復旧済(本)	計(block)	未稼働(block)	稼働(block)	稼働率(%)	損壊箇所(箇所)	未修復箇所(箇所)	修復済箇所(箇所)	被災農家(戸)	10%未満	10%~30%	30%~50%	50%以上	10%未満	10%~30%	30%~50%	50%以上					
立間	33	33			78	14	8	90	0	100	0	5	2	38	155	5	169	108	42	9	10												
[323ha]					80	16	4	93	0	100	0	3	1	40	150	10																	
吉田	30	30			90	5	5	94	0	97	0	1	1	68	43	5	59	43	9	5	2												
[275ha]					92	7	1	96	0	97	0	9	1	75	39	9																	
奥南	21	21			90	9	1	91	0	99	0	3	11	71	64	7	110	76	20	9	5												
[232ha]					92	7	1	95	0	99	0	11	2	48	46	25																	
喜佐方	38	38			93	6	1	95	0	99	0	2	2	48	22	49	134	109	10	10	5												
[305ha]					93	5	2	94	0	99	0	5	3	48	64	13																	
玉津	95	95			93	5	2	97	0	99	0	15	2	48	60	17	161	70	62	15	14												
[402ha]					95	4	1	97	0	99	0	11	4	35	206	33																	
高光和島	63	63			85	10	5	83	0	97	0	4	2	35	112	127	63	56	3	4	-												
[392ha]					90	9	1	96	0	98	0	32	15	89	21	5																	
計(a)	217	217			90	9	1	96	0	98	0	5	9	62	571	50	696	462	146	52	36												
[1,929ha]					90	9	1	98	0	98	0	77	8	66	525	96																	
	217	217			94	5	1	98	0	98	0	54	8	66	487	134																	
	217	217			95	4	1	98	0	98	0	8	8	66	253	368																	
	217	217			-	-	-	-	-	-	-	8	46	66	231	390																	

注:「被災農家」は、調査回答の数値

※1 表中の1戸あたりの被害程度とは、各農家の被害面積を作物面積で除いたものを4項目(10%未満、10%以上30%未満、30%以上50%未満、50%以上)に振り分けている。
 ※2 「農道損壊・復旧状況」欄の「復旧済本数」は、仮復旧済みの農道を含む。
 ※3 被害戸数等の被害状況は30年9月28日現在のもの

30.12.12時点 修復延長は21,870mで被害延長35,827mに対して61%の復旧。箇所別では390箇所が修復され全体の82.8%が復旧

平成30年7月豪雨被害に係るかんきつ被害・復旧状況【八西地区】

※被災状況は8/10の被災アンケート調査集計による。復旧状況は10/15現在
F30.12.15

項目 地区名	農地復旧状況										農道損壊・復旧状況				スバルクラ損壊・復旧状況				モレール損壊				被災農家(戸)		1戸あたりの被害程度(戸) ^{注1}		総壊滅面積(Ha)		
	復旧見込(Ha)	未復旧(Ha)	復旧中(Ha)	復旧済(Ha)	出荷見込み(%)	本年出荷不可(%)	通常出荷可能(%)	出荷見込み(%)	本年出荷不可(%)	通常出荷可能(%)	防除済(%)	損壊本数(本)	未復旧(本)	復旧中(本)	復旧済(本)	計(block)	未稼働(block)	稼働(block)	稼働率(%)	損壊箇所(箇所)	未修復(箇所)	修復中(箇所)	修復済(箇所)	10%未満	30%~50%	50%以上	計(Ha)	延焼面積(Ha)	
真穴	8月30日	1.3								100		1												14	10	4	1.3		
	9月25日	1.3								100		1				12					1								
	10月11日	1.3								100																			
	11月21日	1.3								100																			
川上	8月30日	0.1								100																			
	9月25日	0.1								100																			
	10月11日	0.1								100		4				11					6								
	11月21日	0.1								100																			
八幡浜	8月30日	0.9								100																			
	9月25日	0.9								100																			
	10月11日	0.9								100		6				9					6								
	11月21日	0.9								100																			
日の丸	8月30日	0.5								100																			
	9月25日	0.5								100																			
	10月11日	0.5								100																			
	11月21日	0.5								100																			
八協	8月30日	1.7								100																			
	9月25日	1.7								100																			
	10月11日	1.7								100		1																	
	11月21日	1.7								100																			
みつる	8月30日	9.5								99.7		3																	
	9月25日	9.5								100		3																	
	10月11日	9.5								96.7		10				39													
	11月21日	9.5								100																			
磯津	8月30日	0.1								100																			
	9月25日	0.1								100																			
	10月11日	0.1								100																			
	11月21日	0.1								100																			
計(a)	8月30日	14.1										6	2	14															
	9月25日	14.1										6	2	14															
	10月11日	14.1										22	6	2	14		79												
	11月21日	14.1								100																			
伊方	8月30日	0.7								100		3																	
	9月25日	0.7								100		3																	
	10月11日	0.7								100		4	3	1		34													
	11月21日	0.7								100																			
三崎	8月30日	0.3								98.3																			
	9月25日	0.3								100																			
	10月11日	0.3								83.5																			
	11月21日	0.3								100																			
計(b)	8月30日	1.0										3																	
	9月25日	1.0										3																	
	10月11日	1.0										4	3	1		41													
	11月21日	1.0								100																			
合計(a+b)	8月30日	15.1										9	2	15															
	9月25日	15.1										9	2	15															
	10月11日	15.1										26	9	2	15		120												
	11月21日	15.1								100																			

※1 表中の1戸あたりの被害程度とは、各農家における被害程度(被害面積÷作付面積=〇〇%)を計算し、4項目(10%未満、30%以上50%未満、50%以上)に基に分ける。なお、各項目の戸数の計が地区被災農家数と同数になる。

② 販売支援の状況

宇和島がんばるみかんの販売状況

平成30年12月12日時点

1 販売状況

	合計数量
企業等 (県への申込み)	10,430kg
個人、イベント用 (JA えひめ南直販センターへの申込)	8,865kg
計	<u>19,295kg</u>

2 主な販売先（企業、個人は除く）

月 日	協力先	内容等	販売実績
11月2日	済美高校文化祭	生徒会が文化祭において来場者へ販売	約200kg
11月23～25日	東京大学駒場祭	東大みかん愛好会が学祭で対面販売	約150kg
11月23日	JA高知はた	JAえひめ南と災害・連携協定を結ぶ同JAの農業祭において販売	約500kg
11月24～25日	合同産直市 (えひめ・まつやま産業まつり)	産直施設で販売	約200kg
12月1～2日	宮城県大崎市	宇和島市と姉妹都市である同市が協力し、「あ・ら・伊達な道の駅」で「えひめ宇和島みかんフェア」を開催し販売	約800kg

◎年内で販売終了予定（申し込みは12月14日で締切）

2 中長期対策について

①災害復旧事業の状況 等

「吉田町柑橘園地」災害復旧事業の進捗状況

宇和島市農林課
南予地方局農村整備課

区分		年度、月	平成30年度 (2018年度)			(2019年度)				(2020年度)			
			9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
国の災害査定			↔ 補助率 事業費 決定										
県受託工事	県営 幹線 水路	仮復旧工事	↔			→ ◆法花津1ブロックを除く 全ブロック制御室まで通水							
		測量・設計				→							
		本復旧工事				準備 →							
	同上 ポンプ	本復旧工事		↔ 入札 公告 開札		→ ◆未被災園地スプリンクラー稼働							
		仮復旧工事		↔ 入札 公告 開札									
		測量・設計				→							
	園内 幹・支線 水路	本復旧工事			準備 →								
市	農地	測量・設計			→								
		本復旧工事		準備 →									
県受託工事	スプリン クラー	測量・設計			→								
		本復旧工事			準備 →								

※1 原則、国の災害復旧事業は、発災年(H30)を含めて3カ年で実施。

※2 県営造成施設の復旧工事は、県が宇和島市から受託して実施。

※3 県営幹線及び園内幹・支線水路の復旧工事は、
今後、市道復旧担当部署と設計・工程を協議調整のうえ実施予定。

②農地復旧モデル計画策定事業

Press Release

H30. 12. 17
南予地域柑橘農業
復興対策チーム

農地復旧モデル計画「白浦地区」 地元説明会の開催について

農地復旧モデル計画「白浦地区」の地元説明会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

- 1 日時 平成 30 年 12 月 21 日 (金) 18:00～
- 2 場所 吉田町白浦コミュニティーセンター
- 3 内容 (※詳細は調整中)

【説明会】

- (1) 農地・農業用施設災害復旧事業の工程について
 - ・ 災害査定の実施状況
 - ・ 今後の災害復旧工程
- (2) 農地復旧モデル計画について
 - ・ 整備構想図の説明
 - ・ 農地再編復旧の実施スケジュール
 - ・ 意向確認の方法

【座談会】(※マスコミ非公開)

- (1) 地元推進体制
- (2) 地元合意形成に向けて

※座談会は、自由闊達に意見が言える場としたいとの地元関係者の意向により、マスコミ非公開とします。

4 閉会

～問い合わせ～

愛媛県南予地方局農村整備企画検査室長 川本
TEL 0895-28-6119

3 その他

吉田町玉津の若手農家による柑橘復興に向けた農業法人設立の動き

1 目的

平成30年7月豪雨により、宇和島市吉田町玉津地区は、樹園地が崩壊するなど甚大な被害を受け、樹園地の早期復旧や収入の確保が喫緊の課題となっている。

このため、玉津地区の柑橘農業を将来に渡り継続していくため、若い農業者が中心となって農業法人を設立し、農作業の受託やジュース等の製造・販売等を展開することにより、収穫等の労働力不足に対する支援や被災農家の収入を確保し（つなぎ営農）、玉津地区柑橘農業の早期復興や産地の維持・発展を図る。

2 組織名 株式会社玉津柑橘倶楽部

3 設立予定 平成30年12月中設立

4 メンバー 玉津地区の若い農業者 5人

5 資本金 メンバーが出資

6 主な活動内容（検討中）

営農部門

- 農作業の受託（柑橘の収穫や運搬、せん定等の請負）
- モノレール、スプリンクラー等の修繕及び設置作業の請負
- 樹園地の基盤整備の作業の請負
- 柑橘の大苗育苗の生産
- 柑橘栽培状況等の情報発信

販売部門

- 柑橘加工品（ジュース等）の製造・販売
- 玉津の柑橘を顧客や産直施設等へ販売（玉津共選から購入したもの）

7 その他

- 事務所は、玉津共選場近くの空き家を改装して設置